

令和元年度 事業報告

1 事業概要

法人経営においては、「ガバナンスの強化」、「透明性の確保」、「財務規律の強化」を基本として、第2次中期経営計画を推進する中で取り組みました。

10月からの消費税増税に伴う対応としては、老福施設においては、介護職員等に対する新たな処遇改善手当を創設し、人材の確保・定着が図られるよう取り組むほか、保育所においては、3歳以上の保育料の無償化が始まり、給食費は無償化の対象外であり給食費の徴収事務は増えましたが、保護者への事前説明に努め円滑な無償化への移行が図られました。

事業の見直しでは、3箇所の居宅介護支援事業所のうち、白鳥ハイツをエンルムハイツに統合し、2年度からは全2箇所として効率化、収支改善を目指します。

また、エンルムハイツ拠点会計としては、数年来の収支低迷から脱却することができ、元年度決算においては前年比で大幅に改善されました。

デイサービスセンターかがやきについては、市から譲渡され法人独自事業として1年経過しましたが順調な運営となり、白鳥ハイツ、あいらんにおいても堅調な経営実績を上げています。

保育事業では、双葉保育所の移転改築において、工期の延長はありましたが予定どおり2年4月にオープンできました。総事業費は約3億6,000万円であり、コンセプトどおりの建物となり、他の老朽施設改築のモデル施設になります。

6保育所の利用状況は、前年よりやや低下しましたが安定した運営になりました。

これらの結果、施設整備の積立としては、老福施設では8,500万円、保育所では3,000万円、計1億1,500万円を積み立てることができました。

なお、年明けからの新型コロナウイルス感染症の流行により、デイサービスや訪問介護等の利用の抑制、また、保育所においても登所を自粛するなど稼働率の減少もありましたが、経営的には大きな影響はありません。むしろ、職員にとりましては、この度の感染症予防は危険な業務とも言われており、職員が高い予防意識を保ち万全な体制を継続させるためには、防護用品の十分な確保とともに更なる処遇改善についても検討して参ります。

課題が山積する中で、第2次中期経営計画の2年目が終了し残り1年となりましたが、計画目標に向かっての総仕上げとともに、第3次計画の策定作業を進め、働きやすい職場環境を目指して取り組んで参ります。

(1) 特別養護老人ホーム（白鳥ハイツ、エンルムハイツ従来型・ユニット型）

令和元年10月には、消費税増税に伴う介護報酬改定等はありませんでしたが、財務状況や職員の人材確保等厳しい状況が続いています。その中で介護職における勤務体制や業務内容の見直し、物件費においては発注先等の抜本的な見直しによる経費削減を進めると共に、待機者との調整を密にして稼働率の向上に取り組みました。

入所者支援においては、職員の笑顔と挨拶を大切に、看取り介護や認知症ケア、自立支援介護にも取り組み、地域や町内会との連携により特色のある選ばれる施設を目指しました。

施行された働き方改革における法令の順守や介護人材の確保と内部・外部研修の積極的な実施により人材育成、働きやすい職場づくりを推進しました。

近年増加傾向にあり社会問題となっている、虐待高齢者等の受入れも関係機関との連携により積極的に行い、権利擁護事業等の活用にも繋げることができました。

また、全国的に発生している新型コロナウイルス感染症については、対策本部による対応方針や感染症防止マニュアル等により、引き続き万全な体制で入所者の安全確保に努めて参ります。

※令和元年度 1日平均入所者数・平均稼働率（前年比 増△減）

白鳥ハイツ（定員100人）	95.5人 95.5%（+1.3人、+1.3%）
従来型エンルムハイツ（定員46人）	44.4人 96.4%（+0.4人、+0.8%）
ユニット型 〃（定員54人）	52.2人 96.7%（+0.4人、+0.7%）

(2) 養護老人ホーム（あいらん）・特定施設入居者生活介護事業所

近年の介護・支援を必要とする高齢者を取り巻く環境が変化するなか、介護サービスの更なる有効利用を進め、自立支援や認知症予防に取り組みました。施設内の研修会では、認知症・精神疾患や虐待事例検討を行い、施設内で統一した援助方法を職員間で共有するなど職員の資質向上に努めました。

感染症対策ではインフルエンザ、新型コロナウイルスが流行したことから、面会制限等の対策により、職員全員で入居者及び職員の安全確保に引き続き努めます。

また、緊急時を想定した訓練では避難防災訓練後に非常食を使い各ユニットで炊き出しを行いました。

令和元年度の利用状況は、前年度と大きな変化はなく安定しましたが、精神科に入院し退所する方が多かったことから入院日数も多くなりました。あいさぽ事業は感染症予防のため途中から中止としましたので利用は減少しました。

新規入所は20名の方が入所し、そのうち9名が緊急入所で、うち5名は虐待の対象者でした。

※令和元年度 1日平均入所者数・平均稼働率（前年比 増△減）

養護老人ホーム（定員 80 人）	80.0 人	100%	（+1.1 人、+1.4%）
うち特定施設（定員 30 人）	28.8 人	96.1%	（± 0 人、+0.3%）
あいさぽ事業（地域貢献事業）	7 回	42 人	（△5 回、△24 人）

（3）デイサービスセンター（白鳥ハイツ、エンルムハイツ、かがやき）

地域に根ざしたデイサービスセンターとして、各種サービス事業者との連携・協働に取り組み、個別の ADL 機能や生活環境を配慮し利用者の自立支援・重度化防止に繋げ、要介護度の改善・向上を目指しました。

利用者の心身の状態に応じた生活相談援助や機能訓練により、無理なく在宅生活を継続できる支援を行い、地域での社会参加と活動の機会を増進しました。

感染症対策については、3 施設間で速やかに情報を共有し協力体制を構築して、必要に応じた利用者等の対応に当たりました。

かがやきは、平成 31 年 4 月より市から移管され当法人の所管事業になり 1 年経過しましたが順調に事業運営ができました。

※令和元年度 1日平均利用者数・平均稼働率（前年比 増△減）

白鳥ハイツ（通常定員 35 人）	27.0 人	77.1%	（+0.5 人、+1.4%）
エンルムハイツ（通常定員 31 人）	24.0 人	77.4%	（+0.9 人、+2.9%）
かがやき（通常定員 25 人）	23.8 人	95.2%	（+0.5 人、+2.0%）
〃（認知定員 12 人）	7.6 人	63.3%	（+0.3 人、+2.5%）
〃 カフェ（認知症）	21 回	80 人	（△4 回、△96 人）

○総合事業（介護予防・日常生活支援）— 基本チェックリスト該当者を含む。

（4）訪問介護事業（エンルムハイツ）

4 月よりサービス提供責任者を 1 名増の 2 名の配置とし、利用件数の増を見込みました。職員の介護技術向上に努め、生活援助においては、利用者とヘルパーと一緒に掃除を行うなど自立支援にも対応したことから訪問回数の増になりましたが、生活援助が多く報酬の高い身体介護の利用が少ないことから経営的には前年比でマイナスになりました。訪問事業の在り方について改めて検討して参ります。

※令和元年度 利用回数（予防含む）（前年比 増△減）

訪問回数	343 回/月	実人員 44.3 人/月	（+71 回/月、+7.9 人/月）
------	---------	--------------	--------------------

○総合事業（介護予防・日常生活支援）— 基本チェックリスト該当者を含む。

(5) 居宅介護支援事業（白鳥ハイツ、エンルムハイツ、かがやき）

「高齢者の自己決定権の尊厳」、「自分らしい生活の維持」、「自立支援」を基本に居宅サービス計画を作成し、在宅生活が継続できるように支援しました。また、2年度からの事業所体制として、3年度からの特定事業所管理者の主任ケアマネージャー配置義務化（経過措置あり）の対応を控え、更に事業の効率化、収支改善を図るため、2年4月から白鳥ハイツ事業所をエンルムハイツ事業所に統合しました。

※令和元年度 プラン作成件数/月（前年比 増△減）

白鳥ハイツ（ケアマネ2人）	78件（±0件）
エンルムハイツ（ 〃 3人）	108件（+6件）
かがやき（ 〃 2人）	77件（△1件）
ケアマネ1人当たり平均件数	38件（+1件）

(6) 地域包括支援センター（白鳥ハイツ～室蘭市からの受託事業）

地域包括支援センターは、地域包括ケアを支える中核機関として市内に4箇所設置されており、白鳥ハイツは、祝津地区、白鳥台地区、本輪西地区を担当地域とし、介護予防や心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行いました。

令和元年度は、職員1名の増により7人の専門職（主任ケアマネ、保健師、社会福祉士、認知症地域支援推進員）の配置により、総合相談、支援業務の強化や地域ケア会議の開催、高齢者の身体上・生活上の諸問題への支援、増加する高齢者虐待問題の早期解決についても継続して関係機関と連携して対応しました。

また、認知症地域支援推進員は、認知症サポーター講座や徘徊模擬訓練・認知症カフェ開催支援など認知症施策を推進しました。

予防プランの作成件数は減少しましたが、相談件数は前年より20%増加し相談内容も多岐に渡っています。

※令和元年度 予防プラン作成件数/月 相談件数/月（前年比 増△減）

作成件数	381件（△10件）
相談件数	149件（+25件）

(7) 短期入所生活介護事業（白鳥ハイツ、エンルムハイツ）

前年の平成30年度は、北海道胆振東部地震の発生により、被災地域からの入所者が短期入所用のベッドを利用したため利用率は低下しましたが、令和元年度は

順調に推移しました。可能な限り在宅での生活が継続できるよう、利用者の居宅における生活とショートステイの生活が連続したものとなるように配慮しながら、家族や居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等各関係機関との連携により、緊急の利用ニーズにも迅速に対応して在宅生活を支援しました。

なお、エンルムハイツの定員について、過去の稼働率を考慮して、2名減の8名とし、減じた分を特養定員増（46名から48名に）にすることが効果的であるとの検討結果もありその実現を図りたい。

※令和元年度 1日平均 利用状況（前年比 増△減）

白鳥ハイツ	（定員 6 人）	4.8 人	79.4%	（+0.8 人、 +12.9%）
エンルムハイツ	（定員 10 人）	7.5 人	74.9%	（+0.9 人、 +9.0%）

（8）保育所（双葉・楽山・みどり・白鳥・東町・常盤の6保育所）

保育所運営では、歳児別保育を基本とした指導計画に基づき、子ども一人ひとりの成長に配慮し、健康で情緒の安定が図られる保育を実施しました。入所児童数は前年より減少しましたが、利用定員を上回る児童数となりました。児童数の減少要因は、保育士確保が厳しい状況と相俟って、障害児やグレーゾーンの困難事例も増加傾向にありその対応に保育士が割かれることから、それ以外の児童の受入れのために、年度途中での保育士の補充が困難なことによるものです。

このことから、2年度の保育士の確保については、早期に採用試験を実施し十分な保育士を正職員として確保することができましたので、年度中の児童増加にも対応することができる見通しです。

特別保育は、全保育所において「延長保育」、「障害児保育」の実施、東町保育所及び常盤保育所において「一時預かり」、「病児保育」、「年始保育」など多様な保育を実施するほか、全保育所での完全給食（全児童に主食を提供）を継続して実施し食育の推進に努めました。なお2年度から、双葉保育所では移転改築に伴い「病児保育」を開始しました。

双葉保育所の移転改築に当たっては、毎週1回の現地打ち合わせの中で要望の実現や細部の確認作業を行いながら進めており、完成時期は約1箇月遅れましたが、4月1日にオープンすることができました。

子育て支援センターらんらんは、親子のふれあいの場の提供とともに年間を通して様々な子育て相談を行いました。しかしながら、サークル訪問支援においては、参加者の減少から平成30年度でほとんど終了となりました。また、年度後半の2月末から感染症予防のため業務休止になりましたので、全体的な利用は減少しました。今後に向けては、健診時や商業施設等を利用したPR活動を行ない、子育て支援の機能をより一層発揮できるよう努めます。

※令和元年度 保育所入所状況（6保育所合計）（前年比 増△減）

利用定員 540 人	549 人 101.6%（△18 人、△3.4%）
------------	---------------------------

※令和元年度 らんらん利用状況（前年比 増△減）

ルーム参加者	4,702 人（△618 人）
サークル訪問支援	15 件（△272 件）
相談件数	571 件（△15 件）
親子講座	152 人（△127 人）
ほかほかルーム	123 人（△15 人）

2. 評議員会開催状況

第1回

- 1) 日 時 令和元年6月17日（月） 午後1時30分
- 2) 場 所 室ガス文化センター会議室
- 3) 案 件 報告3件、認定1件、議案1件
- 4) てん末 報告第1号「平成30年度事業報告」を報告した。
認定第1号「平成30年度法人決算」を審議し、認定された。
また、報告第2号「平成30年度監査報告」を報告した。
報告第3号「中期経営計画進捗状況の件」を報告した。
議案第1号「理事及び監事選任の件」を審議し、原案のとおり可決された。

第2回

- 1) 日 時 令和元年11月13日（水） 午後1時30分
- 2) 場 所 室ガス文化センター大会議室
- 3) 案 件 報告1件
- 4) てん末 報告第1号「令和元年度法人会計決算見込みの件」を報告した。

3. 理事会開催状況

第1回

- 1) 日 時 平成31年4月24日（水） 午前11時00分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 報告1件、議案1件
- 4) てん末 報告第1号「平成31年度双葉保育所拠点会計資金収支補正予算（第1号）」を報告した。
議案第1号「デイサービスセンターかがやきボイラー更新工事の件」を審議し、原案のとおり可決された。

第2回

- 1) 日 時 令和元年5月27日(月) 午後1時30分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 報告7件、認定1件、議案1件
- 4) てん末 報告第1号「平成30年度エンルムハイツ拠点会計資金収支補正予算(第4号)」から報告第3号「平成30年度双葉保育所拠点会計資金収支補正予算(第4号)」までを一括報告した。報告第4号「デイサービスセンターかがやきボイラー更新工事入札結果の件」を報告した。報告第5号「中期経営計画進捗状況の件」を報告した。報告第6号「平成30年度事業報告」を報告した。認定第1号「平成30年度法人決算」を審議し、認定された。また、報告第7号「平成30年度監査報告」を報告した。議案第1号「令和元年度定時評議員会招集の件」を審議し、原案のとおり可決された。

第3回

- 1) 日 時 令和元年6月17日(月) 午後3時15分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 報告1件、議案1件
- 4) てん末 議案第1号「理事長及び常務理事選定の件」を審議し、選定した。報告第1号「理事長及び常務理事職務執行状況」を報告した。

第4回

- 1) 日 時 令和元年6月28日(金) 午後1時30分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 議案4件
- 4) てん末 議案第1号「双葉保育所改築工事実施設計業務委託の件」から議案第4号「令和元年度常盤保育所拠点会計資金収支補正予算(第1号)までを一括審議し、原案のとおり可決された。

第5回

- 1) 日 時 令和元年8月7日(水) 午後1時30分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 報告3件、議案3件
- 4) てん末 報告第1号「業務監査結果報告(第1四半期)」を報告した。報告第2号「双葉保育所改築工事実施設計契約の件」から報

告第3号「双葉保育所改築工事実施設計納入の件」までを一括報告した。

議案第1号「双葉保育所改築工事入札の件」を審議し、原案のとおり可決された。

議案第2号「令和元年度エンルムハイツ拠点会計資金収支補正予算(第1号)」を審議し、原案のとおり可決された。

議案第3号「令和元年度法人本部拠点会計資金収支補正予算(第1号)」を審議し、原案のとおり可決された。

第6回

- 1) 日 時 令和元年9月25日(水) 午前11時00分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 報告3件、議案4件
- 4) てん末 報告第1号「理事長及び常務理事職務執行状況」を報告した。
報告第2号「双葉保育所改築工事入札結果の件」を報告した。
報告第3号「令和元年度あいらん拠点会計資金収支補正予算(第1号)」を報告した。
議案第1号「令和元年度白鳥ハイツ拠点会計資金収支補正予算(第1号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第2号「令和元年度かがやき拠点会計資金収支補正予算(第1号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第3号「臨時的任用職員就業規則一部改正の件」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第4号「保育所管理規則一部改正の件」を審議し、原案のとおり可決された。

第7回

- 1) 日 時 令和元年10月21日(月) 午後1時30分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 諮問1件、議案1件
- 4) てん末 諮問第1号「職員の懲戒処分等の件」を諮問した。
議案第1号「令和元年度第2回評議員会招集の件」を審議し、原案のとおり可決された。

第8回

- 1) 日 時 令和元年11月11日(月) 午後1時30分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 報告2件、議案5件
- 4) てん末 報告第1号「業務監査結果報告(第2四半期)」を報告した。

報告第2号「令和元年度法人会計決算見込みの件」を報告した。
議案第1号「令和元年度双葉保育所拠点会計資金収支補正予算(第3号)」から議案第5号「令和元年度常盤保育所拠点会計資金収支補正予算(第2号)」までを一括審議し、原案のとおり可決された。

第9回

- 1) 日 時 令和元年12月9日(月) 午後1時30分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 議案1件
- 4) てん末 議案第1号「老人福祉施設厨房業務委託の件」を審議し、原案のとおり可決された。

第10回

- 1) 日 時 令和2年1月29日(水) 午後1時30分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 報告3件、議案1件
- 4) てん末 報告第1号「理事長及び常務理事職務執行状況」を報告した。
報告第2号「老人福祉施設厨房業務委託入札結果の件」を報告した。
報告第3号「令和元年度法人会計決算見込みの件」を報告した。
議案第1号「老人福祉施設における処遇改善手当の支給の特例に関する規則制定の件」を審議し、原案のとおり可決された。

第11回

- 1) 日 時 令和2年2月26日(水) 午後1時30分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 報告1件、議案14件
- 4) てん末 報告第1号「業務監査結果報告(第3四半期)」を報告した
議案第1号「職員就業規則一部改正の件」から議案第3号「育児休業、介護休業等に関する規則一部改正の件」までを一括審議し、原案のとおり可決された。
議案第4号「令和元年度エンルムハイツ拠点会計資金収支補正予算(第2号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第5号「令和元年度かがやき拠点会計資金収支補正予算(第2号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第6号「保育所における人事院勧告等に係る調整金支給の件」から議案第12号「令和元年度常盤保育所拠点会計資金収支補正予算(第3号)」までを一括審議し、原案のとおり可

決された。

議案第13号「令和元年度法人本部拠点会計資金収支補正予算(第2号)」を審議し、原案のとおり可決された。

議案第14号「施設長等任命の件」を審議し、原案のとおり可決された。

第12回

- 1) 日 時 令和2年3月23日(月) 午後1時30分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 報告1件、議案25件
- 4) てん末 報告第1号「理事長及び常務理事職務執行状況(1月～3月)」を報告した。
議案第1号「令和元年度白鳥ハイツ拠点会計資金収支補正予算(第2号)」から議案第9号「令和元年度常盤保育所拠点会計資金収支補正予算(第4号)」までを日程ごと一括審議し、原案のとおり可決された。
議案第10号「令和2年度事業計画」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第11号「令和2年度白鳥ハイツ拠点会計資金収支予算」から議案第21号「令和2年度法人本部拠点会計資金収支予算」までを日程ごと一括審議し、原案のとおり可決された。
議案第22号「定款変更の件」から議案第25号「経理規則一部改正の件」までを一括審議し、原案のとおり可決された。

4. 苦情・相談第三者委員会開催状況

第1回

- 1) 日 時 令和元年11月15日(金) 午前11時00分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 報告2件
- 4) てん末 報告第1号「双葉保育所への苦情対応」について報告した。
報告第2号「エンルムハイツショートステイ利用者死亡事故」について報告した。